

# KENWOOD

## MDV-X802L

---

AV Navigation System

### 取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取付説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

<b>取付用部品一覧</b> .....	<b>4</b>
ナビゲーションシステム取付用部品.....	4
地デジアンテナ取付用部品.....	4
<b>取付作業の進めかた</b> .....	<b>5</b>
取付作業の留意点.....	5
取付手順の流れ.....	5
取付作業が終わったら.....	6
<b>ナビゲーションシステムの取り付け</b> .....	<b>7</b>
取り付け方法.....	7
<b>GPSアンテナの取り付け</b> .....	<b>8</b>
取り付け上のご注意.....	8
取り付け方法.....	8
<b>地デジ用アンテナの取り付け</b> .....	<b>9</b>
取り付け上のご注意.....	9
接続のしかた.....	10
取り付け例.....	10
アンテナエレメント貼り付け位置について.....	11
取り付け方法.....	10
<b>Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け</b> .....	<b>17</b>
取り付け上のご注意.....	17
取り付け方法.....	17

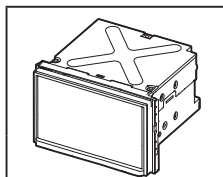
<b>周辺機器の接続</b> .....	<b>18</b>
<b>カメラの接続</b> .....	<b>20</b>
<b>電源の接続</b> .....	<b>24</b>

- 取付作業を始める前に別冊の取扱説明書「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本機は別売の8インチナビゲーションシステム取付キットが必要です。取付に関しては取付キットの取付説明書をご覧ください。

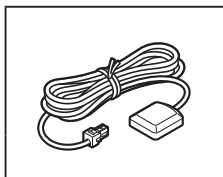
# 取付用部品一覧

取付作業を始める前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。

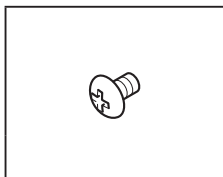
## ナビゲーションシステム取付用部品



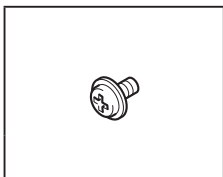
① ナビゲーションシステム本体 …… 1



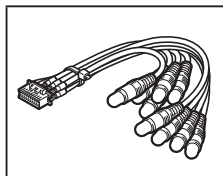
② GPSアンテナ(3.5m) …… 1



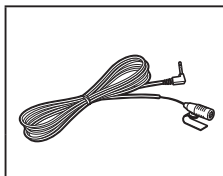
③ トラスネジ (M5×6mm) …… 8



④ セムスネジ (M4×8mm) …… 1

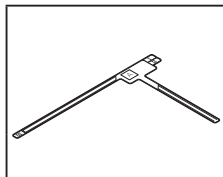


⑤ RCAケーブル …… 1

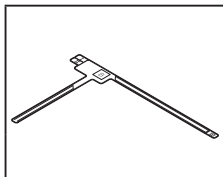


⑥ Bluetoothハンズフリー通話用マイク(3m) …… 1

## 地デジアンテナ取付用部品



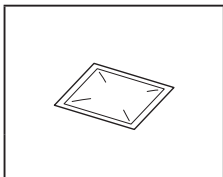
⑦ アンテナエレメントA …… 2



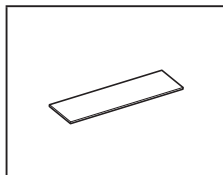
⑧ アンテナエレメントB …… 2



⑨ アンテナケーブル(4m) …… 4



⑩ クリーナー …… 1



⑪ ソフトテープ …… 1



⑫ miniB-CASカード …… 1

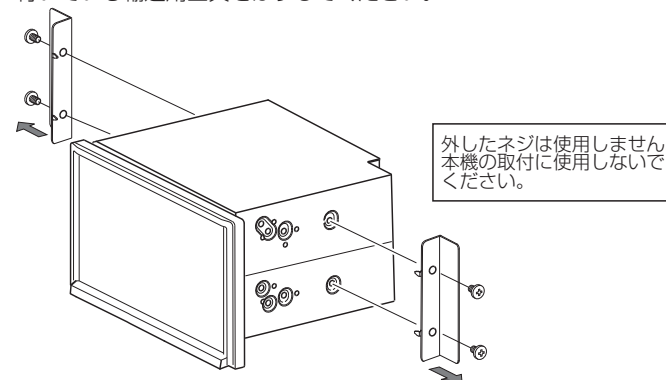
# 取付作業の進めかた

## 取付作業の留意点

- 各ユニットとも次のような場所には取り付けないでください。
  - ✓ 直射日光やエアコンの送風が当たる場所、水のかかる場所、高湿になる場所
  - ✓ しっかりと固定できない場所
  - ✓ グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ナビゲーションシステム本体（以下「本体」）は所定の場所に取り付けてください。通気性の悪い場所などに取り付けると、内部の湿度が高くなり故障や誤動作の原因となります。
- 取り付け作業が終了するまで本体の電源を入れないでください。
- 本体はしっかりと取り付けてください。
- 本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。取り付け前に動作確認などを行う際は注意してください。
- 取り付け前にCDなどで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてディスクの出し入れを行ってください。

## 取付手順の流れ

1. 本機に付いている輸送用金具をはずしてください。



2. ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの⊖端子を外します。
3. GPSアンテナ②、地デジ用アンテナ⑦⑧⑨、マイク⑥を取り付けます。（8ページ～17ページ）
4. 周辺機器を接続してRCAケーブル⑤のコネクターを本体に接続します。（18ページ～23ページ）
5. 電源の接続をします。（24ページ）
6. ナビゲーションシステム本体①を車両に取り付けます。（7ページ）
7. バッテリーの⊖端子を接続します。

## 取付作業の進めかた (続き)

## 取付作業が終わったら

接続、取り付けが完了したら以下の作業を行ってください。

## ナビゲーションシステム本体の動作確認

1. 配線に間違いがないか確認します。
2. 車両のエンジンをかけます。
3. ナビゲーションシステム本体①に電源が入ることを確認します。

## センサー学習

GPS情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。しばらくすると、センサー学習が完了し、自車マークの位置が正しく表示されます。

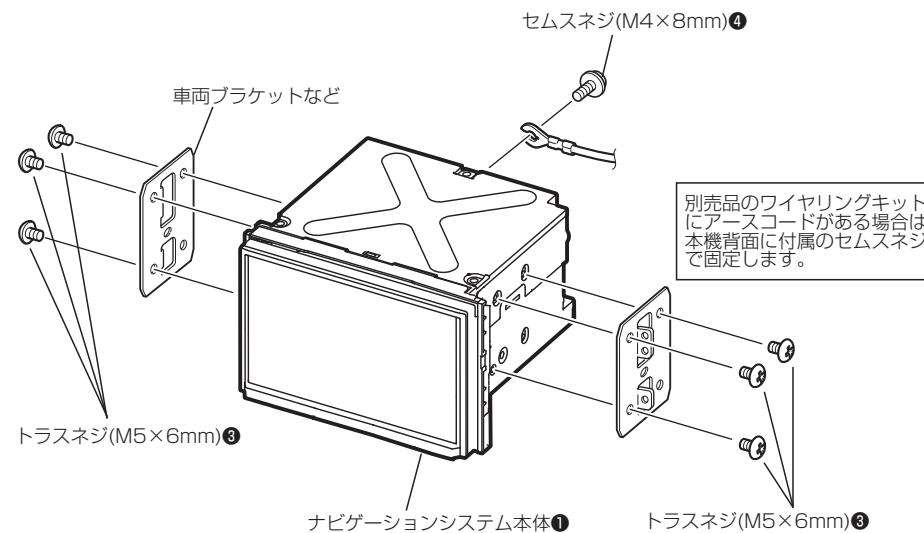
## MEMO

- センサー学習には、GPS アンテナが正しく接続され、GPS 情報の受信状態が安定している必要があります。
- GPS アンテナの接続状態や GPS 情報の受信状態の確認は、取扱説明書の「接続状態を確認する」をご覧ください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ナビゲーションの自車マークの位置は、センサー学習が完了するまで、実際と大きく異なる場合があります。
- センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。

## ナビゲーションシステムの取り付け

## 取り付け方法

付属のトラスネジ (M5×6mm) ③を使用して、ナビゲーションシステム本体①に車両のブラケットなどを取り付けます。



注意

必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、ブラケットまたは車両のブラケットなどから本体が外れることがあります。

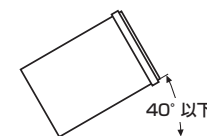


必ず車両のブラケットを使って取り付けてください。



指示

本機は上下方向に0~40°の範囲で取り付けてください。範囲を越えた角度で取り付けると、ジャイロセンサーが正しく動作しないことやディスクの音飛びの原因になります。



【横から見た図】



注意

本機は自動車のコンソールに設置してください。使用中および使用直後は、本機の金属部には触れないでください。放熱器や外郭のような金属部は高温となります。

## MEMO

- 無線機を取り付ける場合は、無線機のアンテナを本体から 1.5m 以上離れた位置に取り付けてください。無線受信に影響をおよぼすことがあります。

# GPSアンテナの取り付け

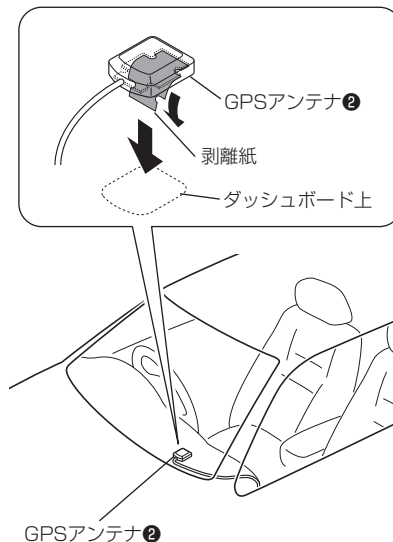
## 取り付け上のご注意

- このGPSアンテナ②は車室内専用です。
- GPSアンテナ②はGPS衛星の電波を受信しやすいようにできるだけ水平に取り付けてください。
- GPSアンテナ②は、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から30cm以上離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPSアンテナ②を本体①に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなる場合があります。GPSアンテナ②は本体①からできるだけ離して取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、GPSアンテナ②を移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。
- 受信状態の確認方法については取扱説明書の「接続状態を確認する」をご覧ください。
- GPSアンテナ②は車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- 貼り付け面の油分や汚れをきれいに拭き取ってください。

## 取り付け方法

### ダッシュボードへの取り付け

1. GPSアンテナ②裏面の剥離紙をはがし、ダッシュボード上にGPSアンテナ②を取り付けます。



### MEMO

- アンテナ部が車両の部品などで覆われていないか確認し、どの方向からも電波が受信できるようにしてください。
- プリントアンテナやフィルムアンテナ、曇り除去装置、断熱シートなどがフロントガラスについている場合は、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

# 地デジ用アンテナの取り付け

## 取り付け上のご注意

- このフィルムアンテナは車室内専用です。
- 下記の位置には取り付けないでください。
  - ✓ 車検標章などと重なる位置
  - ✓ 運転者の視界を妨げる位置
  - ✓ エアーバックや保安部品の動作の妨げとなる位置
  - ✓ リアハッチなど可動するガラス面
  - ✓ 車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）
  - ✓ リアウィンドウなど
- 下記の場合は受信感度が低下します。
  - ✓ 熱線反射ガラスやミラー調ガラスフィルムの貼ってある場所
  - ✓ 純正ラジオなどのアンテナ（パターン）に重なる場所
  - ✓ ウィンドウの熱線と重なる場所
  - ✓ 電波を通さないガラス（熱線反射ガラスや断熱ガラスなど）を使用している場合
- 各アンテナエレメントとアンテナケーブルの取り付け位置を十分に確認してから作業を行ってください。アンテナエレメントは貼りなおすことができません。
- 貼り付け面の油分や汚れを付属のクリーナー⑩できれいに拭き取ってください。
- アンテナエレメントを折り曲げたり、傷を付けないでください。
- 貼り付け面の温度を、暖房をかけるなどして高くしてから作業を行ってください。
- 車種により取り付けられない場合があります。
- アンテナエレメントおよびアンブ部は、アンテナケーブルの引き回しなどを確認してから貼り付けてください。
- 国土交通省の定める保安基準\* に適合するように貼り付けてください。
  - \* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条

### MEMO

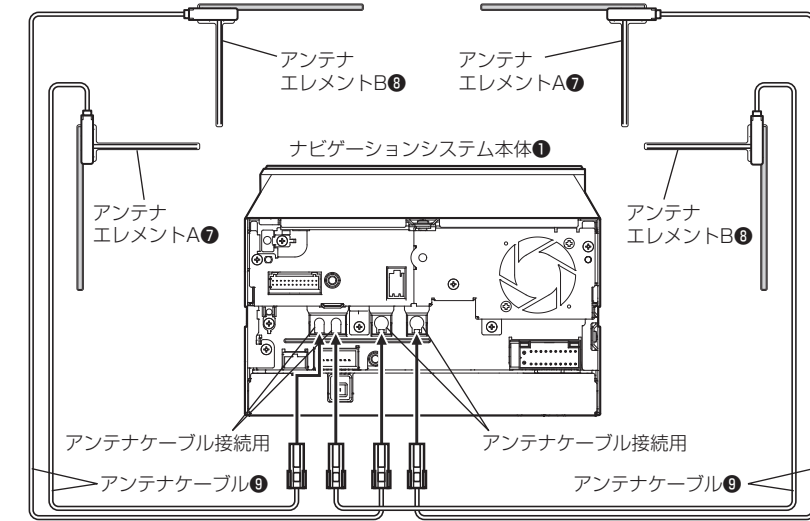
- ワイパーを動かした際やエアコンなどから出るノイズにより、受信感度が低くなる場合があります。
- 車両（アンテナ）の方向と放送局の位置関係により受信状態が悪くなる場合があります。

## 地デジ用アンテナの取り付け (続き)

### 接続のしかた



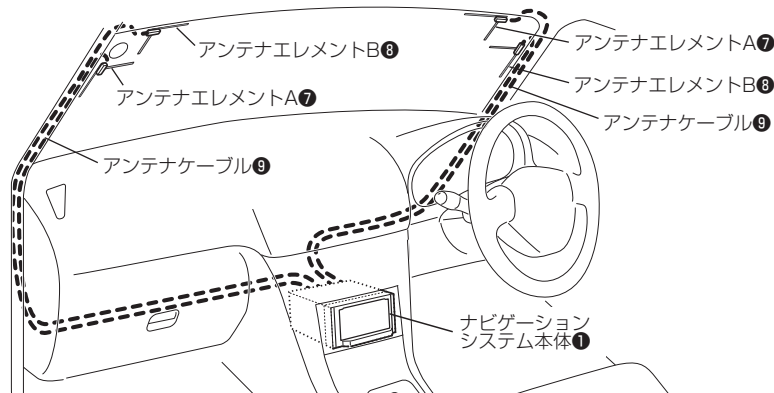
●ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの ⊖ 端子を外してください。



#### MEMO

●アンテナケーブルは、接続用コネクタのどこに接続してもかまいません。

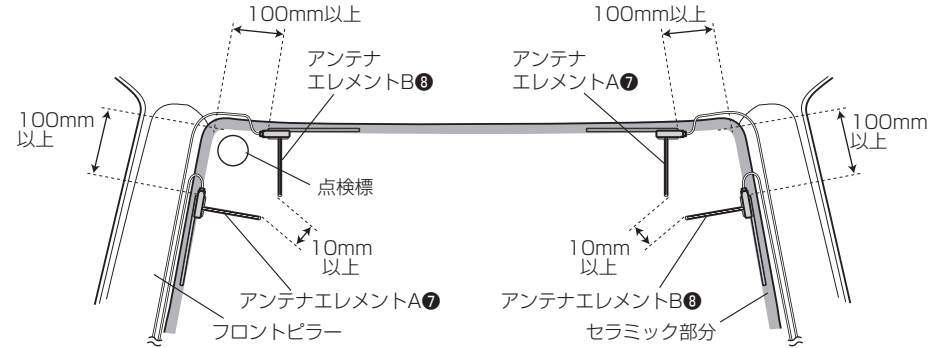
### 取り付け例



### アンテナエレメント貼り付け位置について

- アンテナエレメントにはAとBがあります。貼り付け位置を間違えないように正しく取り付けてください。
- 下図を参考にして各アンテナエレメントの貼り付け位置を決めてください。なお、図中の数字は、最低限あけていただきたい間隔を表します。

#### アンテナエレメント貼付位置

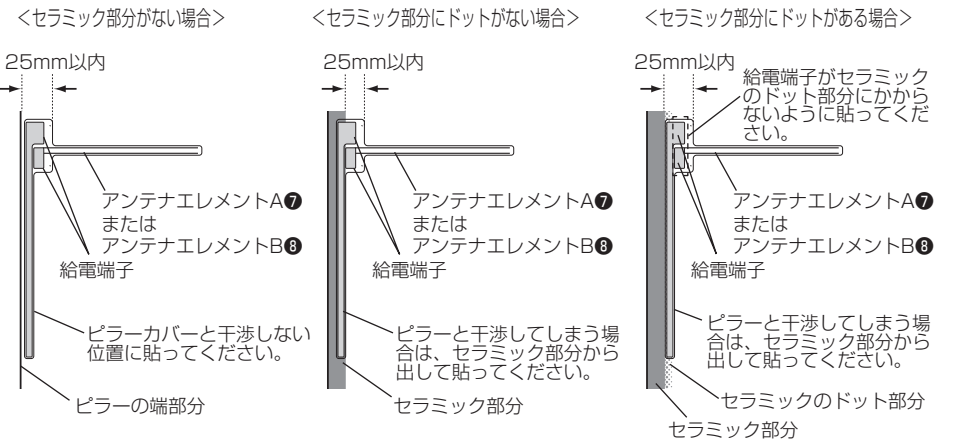


貼り付けの向きについては12ページをご覧ください。

#### アンテナエレメント貼付位置詳細

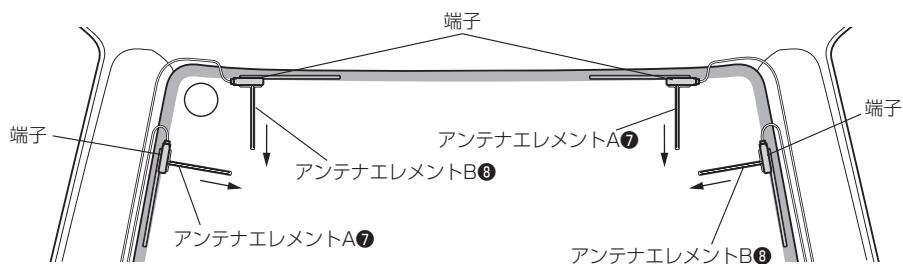
アンテナエレメントの給電端子がフロントガラス周縁のセラミック部分またはピラーの端から25mm以内の位置になるように貼り付けてください。

※イラストは左側ですが、右側および上側も同様に取り付けてください。



## 地デジ用アンテナの取り付け (続き)

アンテナエレメントと端子は下図の向きになるように貼り付けてください。



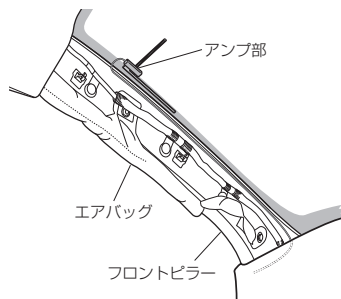
### 取り付け方法



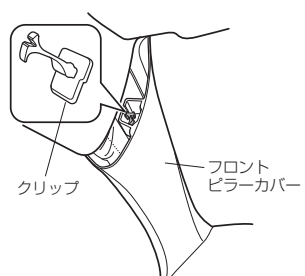
注意

- アンテナエレメントやアンテナケーブルのアンブ部は、貼りなおすことができません。取付位置は十分に確認してください。
- アンテナケーブルのアンブ部とフロントピラーカバーとの干渉に注意してください。
- アンテナケーブルをエアバッグが装着されているフロントピラー内を通す場合、次の点に注意してください。

アンテナとエアバッグが干渉しないようにするため、アンテナケーブルのアンブ部がエアバッグよりも前方または上方になるように取り付けてください。



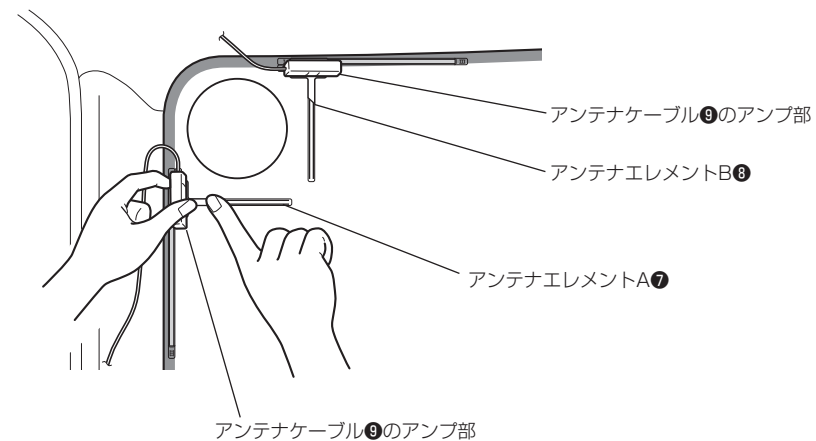
フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定され、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。



### アンテナエレメントの取り付け

以降のイラストは左側の説明です。右側はアンテナエレメントA 7とアンテナエレメントB 8の位置が入れ替わりますが同様に貼り付けてください。

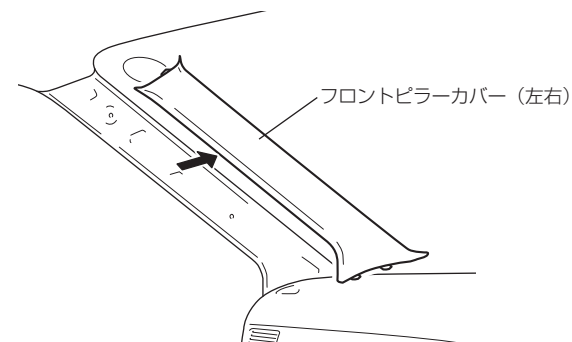
1. アンテナエレメントA 7 (上側はアンテナエレメントB 8) とアンテナケーブル 9 のアンブ部を仮当てし、取り付け位置を決めます。「アンテナエレメント貼り付け位置について」(11ページ)を参照して、すべての取り付け位置を決めてください。



注意

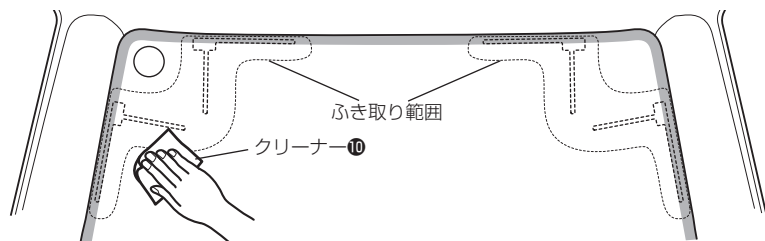
- フロントピラーカバーとアンテナケーブル 9 のアンブ部が干渉しないように、必ずフロントピラーカバーを取り外す前に確認してください。

2. フロントピラーカバー (左右) を取り外します。



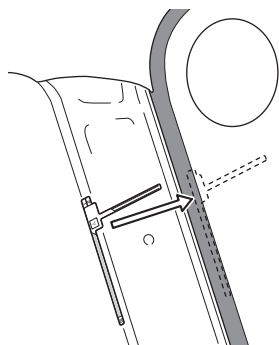
## 地デジ用アンテナの取り付け (続き)

3. アンテナエレメントを貼り付けるすべての場所の汚れを、付属のクリーナー⑩できれいに拭き取ります。

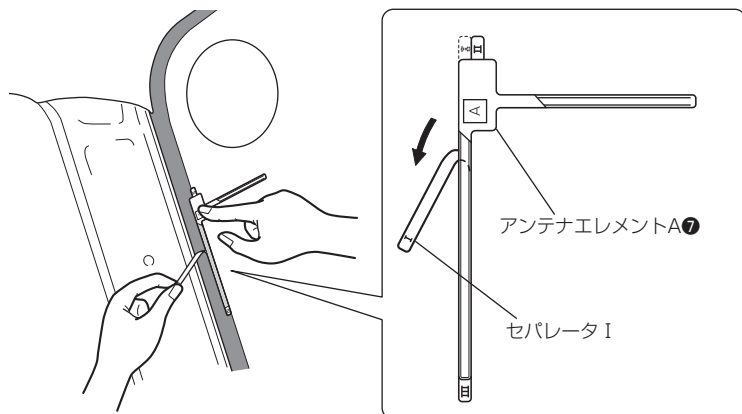


●クリーナー⑩は乾きやすいため、一度にすべての場所の汚れを拭き取ってください。

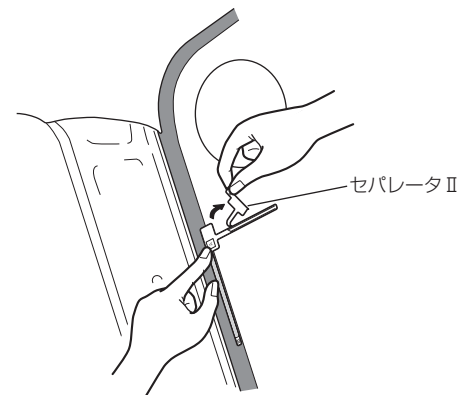
4. 手順1で決定した位置にアンテナエレメントを当てます。



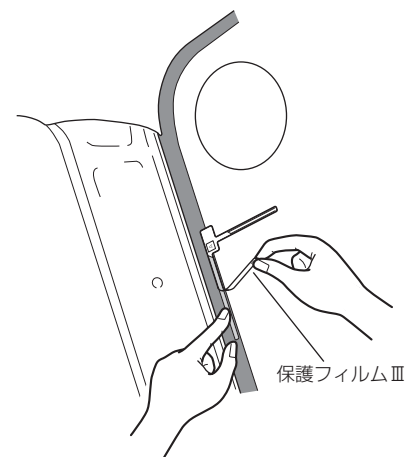
5. アンテナエレメントを押さえながらセパレータ I をはがし貼り付けます。



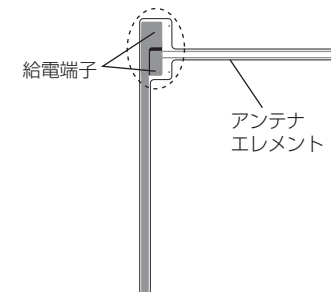
6. アンテナエレメントを押さえながらセパレータ II をはがし、アンテナエレメントを貼り付けます。



7. 樹脂製のヘラなどでフィルムの上からアンテナエレメントを十分に密着させた後、保護フィルム III を静かにはがします。



- エレメントが保護フィルム III と一緒にはがれる場合は、保護フィルム III を元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。
- 給電端子には直接手で触れないでください。

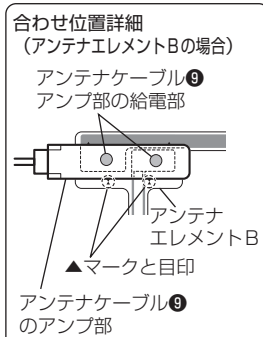
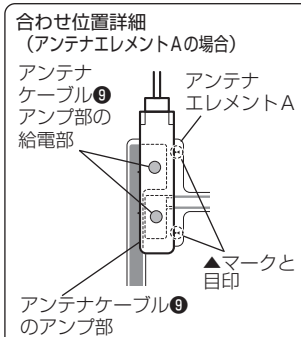
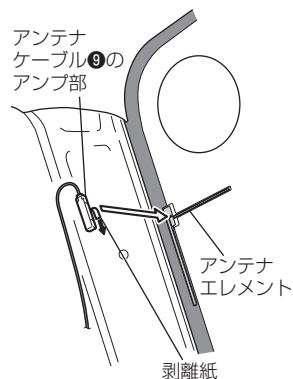




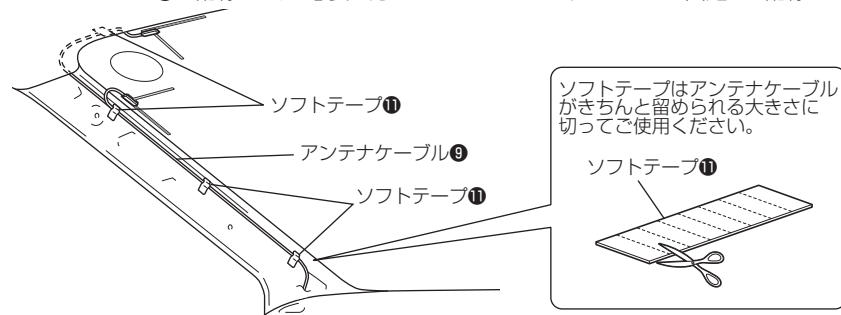
## 地デジ用アンテナの取り付け (続き)

## アンテナケーブルの取り付け

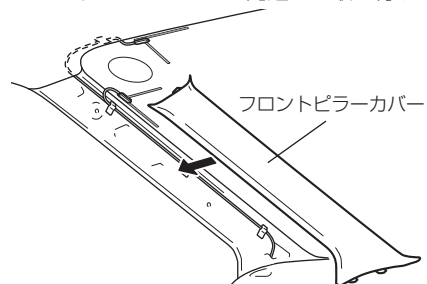
1. アンテナケーブル⑨のアンブ部裏面の剥離紙をはがし、アンテナエレメントの給電端子に、アンテナケーブル⑨のアンブ部を貼り付けます。  
アンテナケーブル⑨のアンブ部の目印をアンテナエレメントの▲マークに合わせて貼り付けてください。



2. アンテナケーブル⑨を配線します。必要に応じてケーブルをソフトテープ⑩で固定して配線します。



3. フロントピラーカバーを元通りに取り付けます。



注意

- フロントピラーカバーが給電端子と干渉しないように注意してください。
- アンテナケーブルをピラーカバーやコンソールなどにはさみ込まないように注意してください。ショートを起こし、放送が受信できなくなります。

## Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け

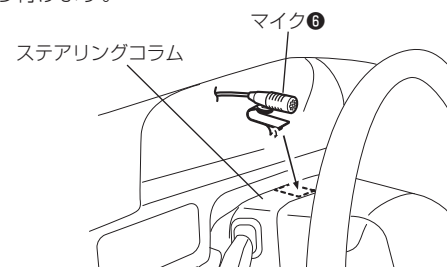
## 取り付け上のご注意

- 下記の位置には取り付けないでください。
  - ✓ 運転者の視界を妨げる位置
  - ✓ エアバックや保安部品の動作の妨げとなる位置
- Bluetoothハンズフリー通話用マイク⑥ (以降マイク⑥) は、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から離れた位置に取り付けてください。ハンズフリー通話時の音声がかこれらの通信によって妨害される場合があります。
- マイク⑥は車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- マイク⑥は、ケーブルの引き直しなどを確認してから貼り付けてください。

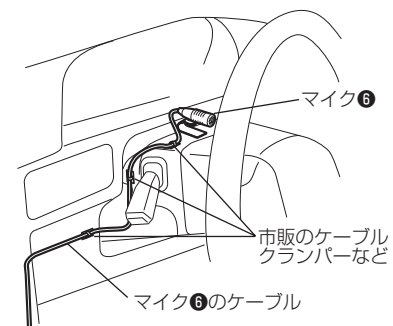
## 取り付け方法

## ステアリングコラム上への取り付け例

1. マイク⑥を貼り付ける場所の汚れをきれいに拭き取り、マイク⑥をステアリングコラム上に貼り付けます。



2. マイク⑥のケーブルを配線します。必要に応じて配線を市販のケーブルクランパーなどで固定します。



注意

- ケーブルを可動部にはさみ込まないように注意してください。

3. マイク⑥の正面が運転者の方向へ向くように調整します。

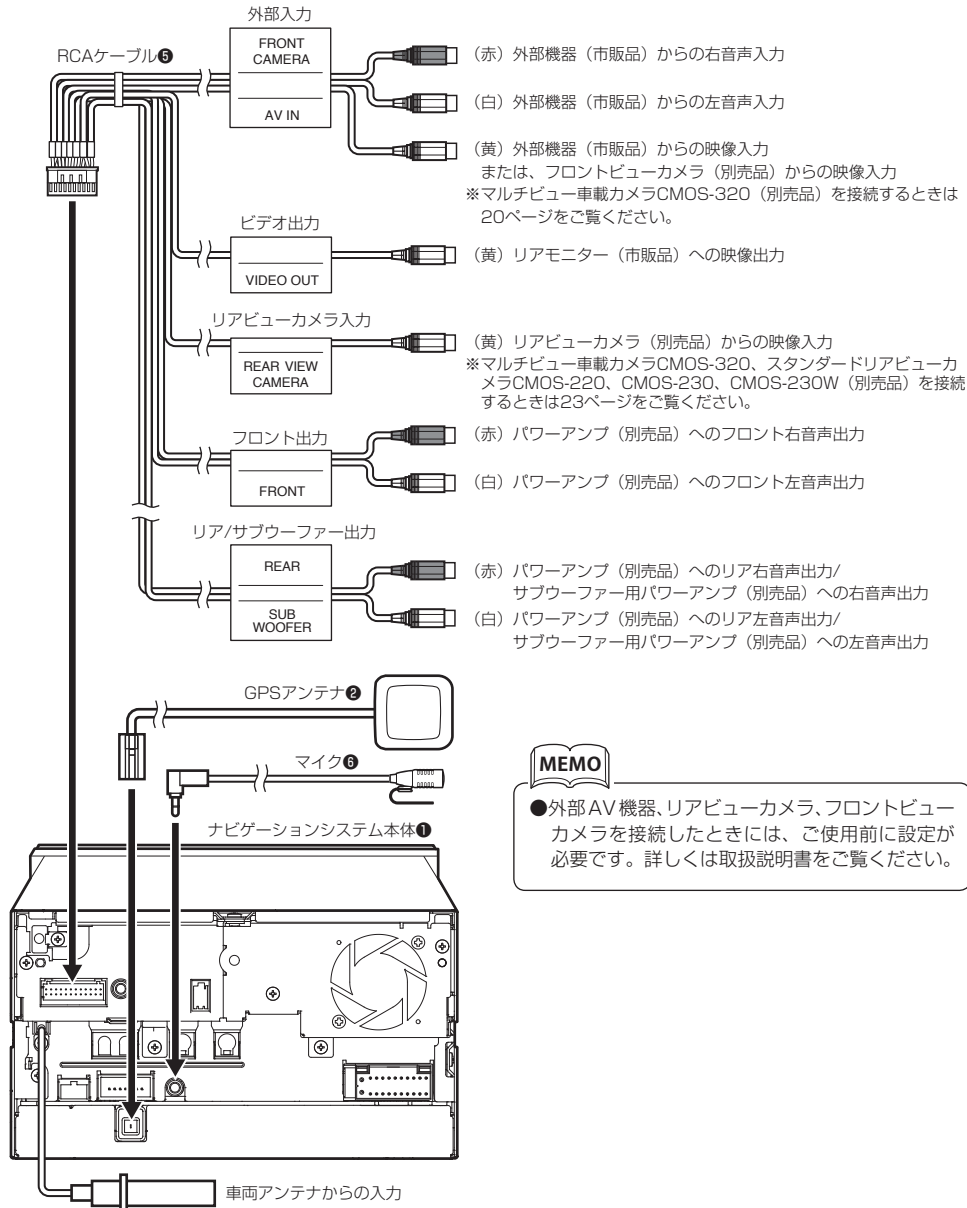


# 周辺機器の接続



**指示**

●ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーの⊖端子を外してください。



**MEMO**

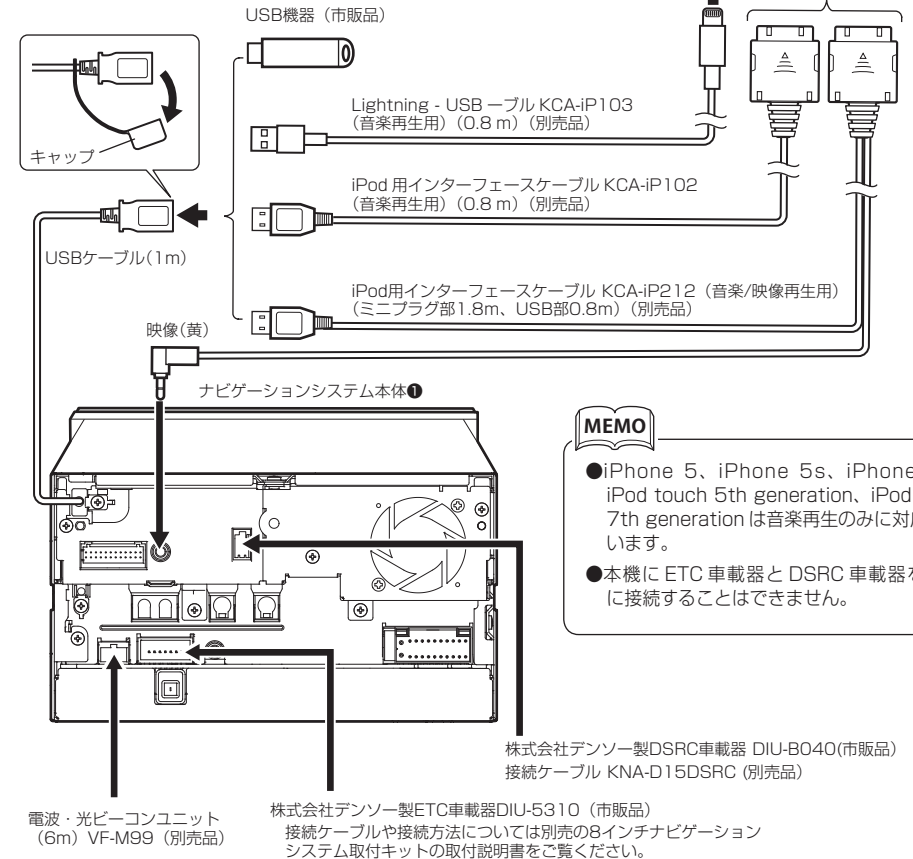
●外部AV機器、リアビューカメラ、フロントビューカメラを接続したときには、ご使用前に設定が必要です。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

# 周辺機器の接続



**注意**

●USBケーブルを使用しないときは、キャップを外さないでください。コネクター部が車の金属部分に接触すると、本機の誤動作の原因になります。



**MEMO**

●iPhone 5、iPhone 5s、iPhone 5c、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generation は音楽再生のみに対応しています。

●本機にETC車載器とDSRC車載器を同時に接続することはできません。

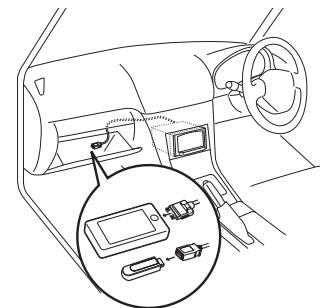
**配線例**

iPodやUSBデバイスは、グローブボックスなどに収納します。USBケーブル (1m) は、グローブボックスなどへ届く位置に引き出してください。



**注意**

- iPodやUSBデバイスは足下などに落ちないようにしてください。iPodやUSBデバイスが運転ペダルの下に入ると、運転に支障をきたして危険です。
- ケーブルやコネクターに直射日光が当たらないように配線・取り付けをしてください。ケーブルやコネクターが直射日光に当たると、熱のため変形して使用できなくなります。
- 必要に応じて市販のケーブルクランパーを使用してケーブルを固定してください。



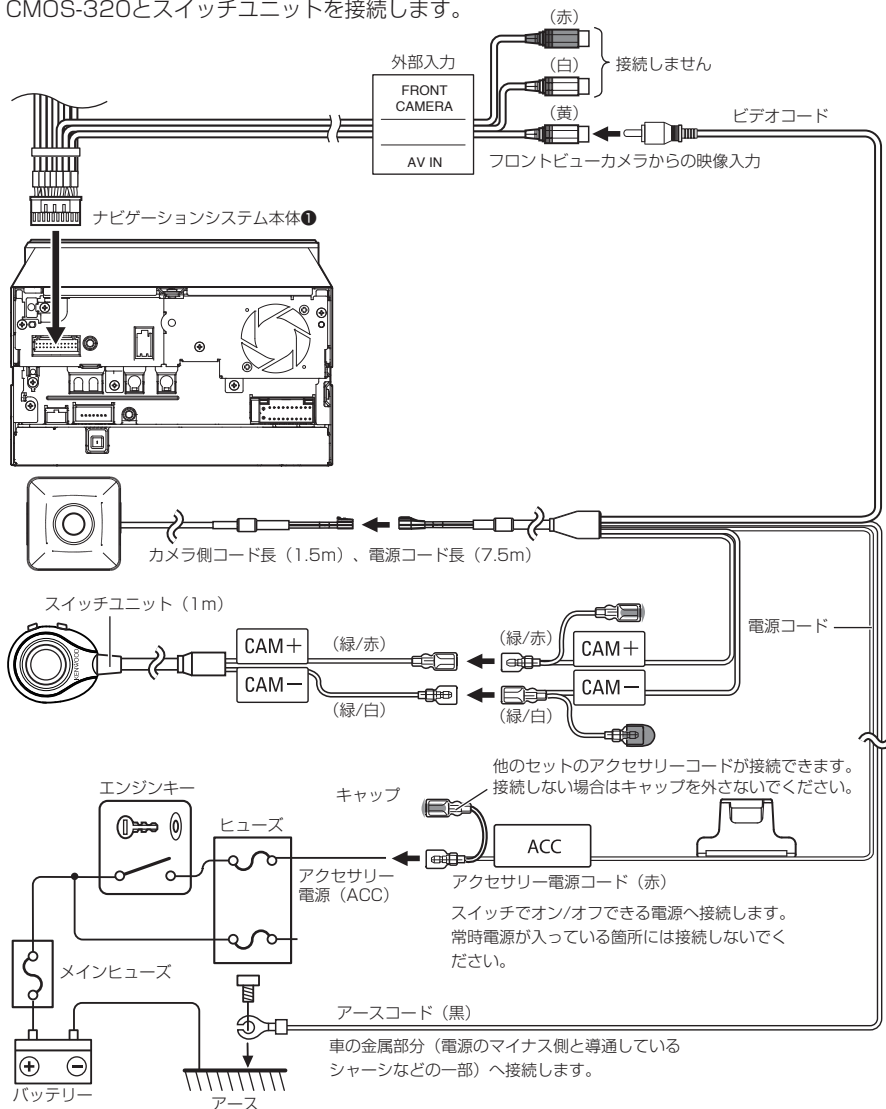
# カメラの接続

## マルチビュー車載カメラ CMOS-320 の接続方法

- 本機でCMOS-320をフロントビューカメラとしてご使用になる場合はカメラの識別設定が必要です。設定についてはCMOS-320の取扱説明書をご覧ください。設定画面の表示方法は21ページをご覧ください。リアビューカメラのみ接続する場合は識別設定の必要はありません。
- カメラの識別設定をするときのみ、CMOS-320同梱のスイッチユニットを接続する必要があります。設定が終わったら必ずスイッチユニットは外してください。

### CMOS-320 の識別設定をする

1. CMOS-320とスイッチユニットを接続します。



2. 電源ハーネスを接続します。
3. 電源を入れます。
4. 画面右上から左にドラッグまたはフリックしてソース切替画面を表示します。



5. [AV-IN]にタッチします。



6. [HOME]ボタンを押して、ホーム画面を表示します。
7. AVエリアにタッチします。



8. スwitchユニットの+ボタンを2秒以上押したあと-ボタンを2秒以上押します。



設定画面が表示されます。

設定についてはCMOS-320の取扱説明書をご覧ください。

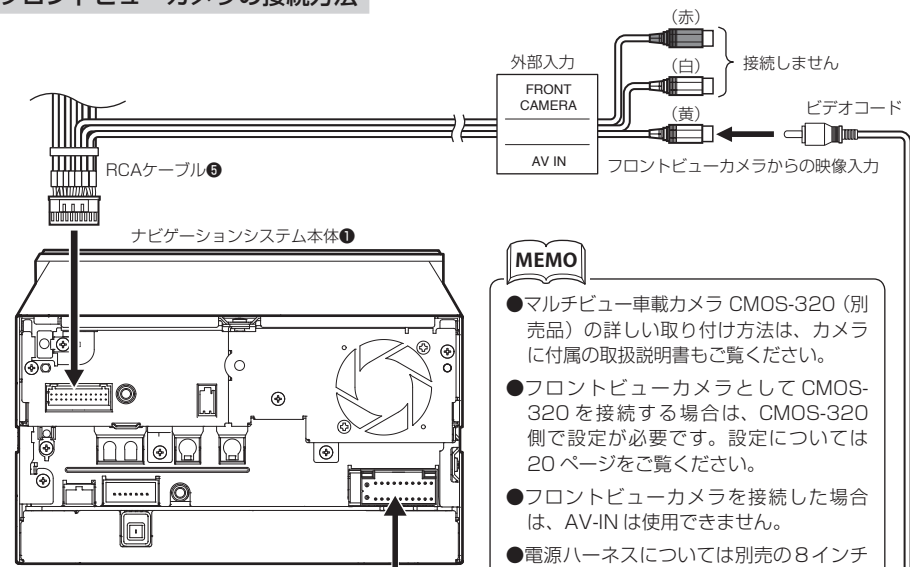
9. 設定が終了したら電源をオフにして電源ハーネスを外します。
10. スwitchユニットを外します。
11. 22ページに従って配線してください。

### MEMO

●電源ハーネスについては別売の8インチナビゲーションシステム取付キットの取付説明書をご覧ください。

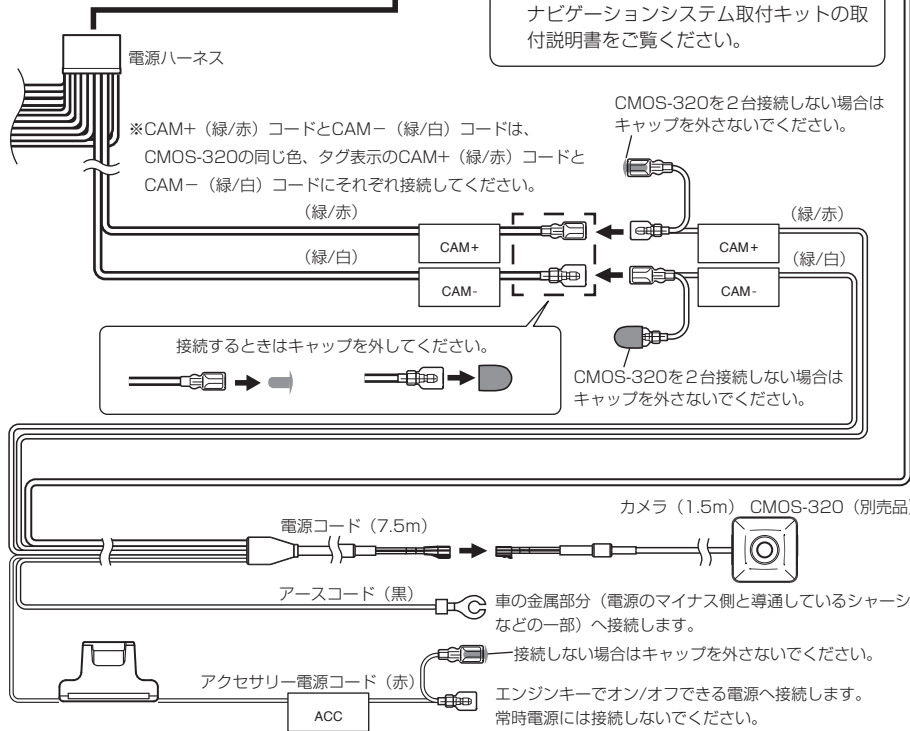
## カメラの接続 (続き)

### フロントビューカメラの接続方法



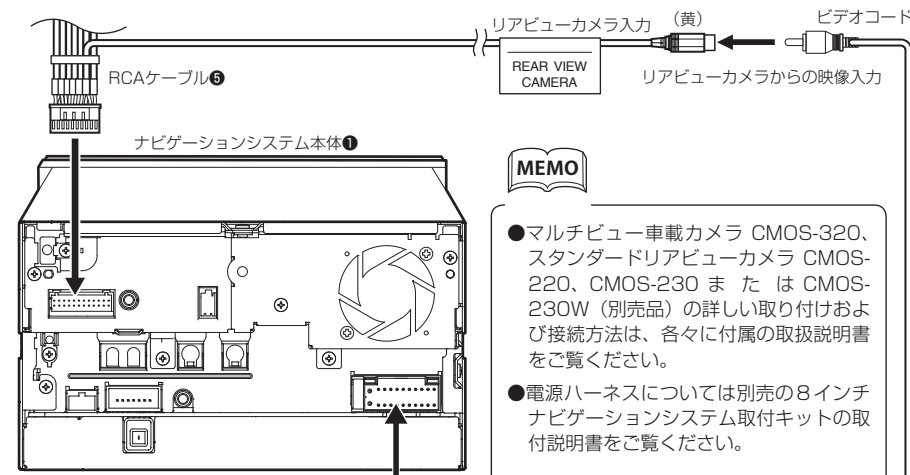
#### MEMO

- マルチビュー車載カメラ CMOS-320 (別売品) の詳しい取り付け方法は、カメラに付属の取扱説明書をご覧ください。
- フロントビューカメラとして CMOS-320 を接続する場合は、CMOS-320 側で設定が必要です。設定については 20 ページをご覧ください。
- フロントビューカメラを接続した場合は、AV-IN は使用できません。
- 電源ハーネスについては別売の 8 インチ ナビゲーションシステム取付キットの取付説明書をご覧ください。



## カメラの接続 (続き)

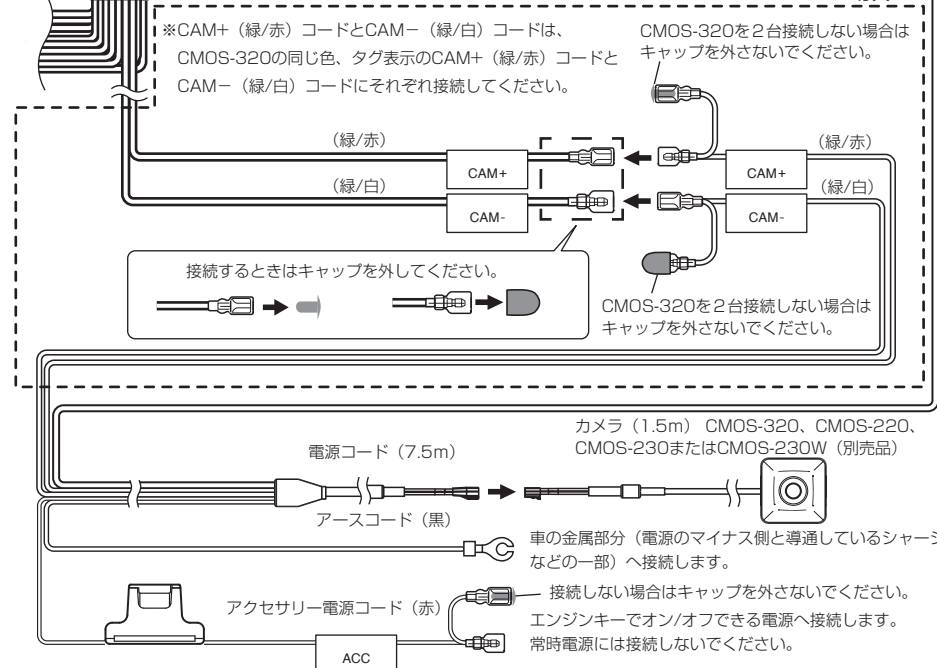
### リアビューカメラの接続方法



#### MEMO

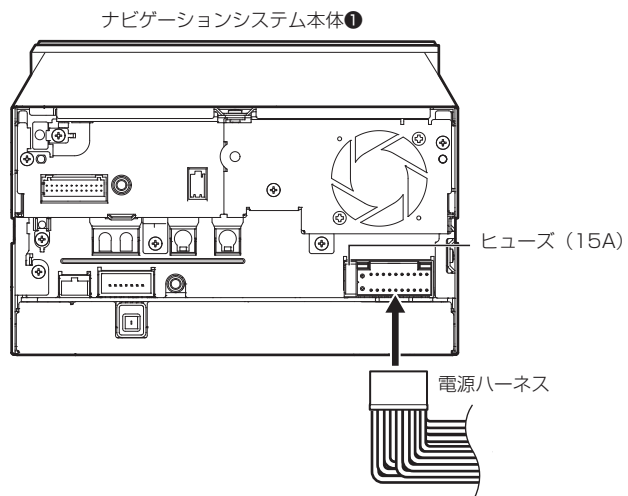
- マルチビュー車載カメラ CMOS-320、スタンダードリアビューカメラ CMOS-220、CMOS-230 または CMOS-230W (別売品) の詳しい取り付けおよび接続方法は、各々に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源ハーネスについては別売の 8 インチ ナビゲーションシステム取付キットの取付説明書をご覧ください。

#### CMOS-320 の場合



# 電源の接続

電源ハーネスの接続については、別売の8インチナビゲーションシステム取付キットの取付説明書をご覧ください。



注意

- ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

---

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87  
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950

FAX 045-450-2308

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。